

2025年5月期 第1四半期
決算説明資料

2024年10月8日

✓ 2025年5月期 第1四半期実績 前年同期比 減益

■ 売上高はほぼ前年並み

国内建設市場の停滞影響により、建材事業における販売量減少が継続したものの、商業施設事業での販売が堅調に推移したことや国際事業での為替影響などにより前年並み。

■ 営業利益は約1億円減益

資材価格等には落ち着きがみられたが、販管費などコストの増加により減益。

業績結果

(億円)

	2025/5期 1Q実績	2024/5期 1Q実績	前年同期比	
			増減額	%
売上高	885	884	+ 0	+ 0.1%
営業利益	5	6	▲ 1	▲ 16.9%
営業利益率	0.6%	0.7%	—	▲ 0.1p
経常利益	5	10	▲ 5	▲ 50.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	0	6	▲ 5	▲ 93.0%

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

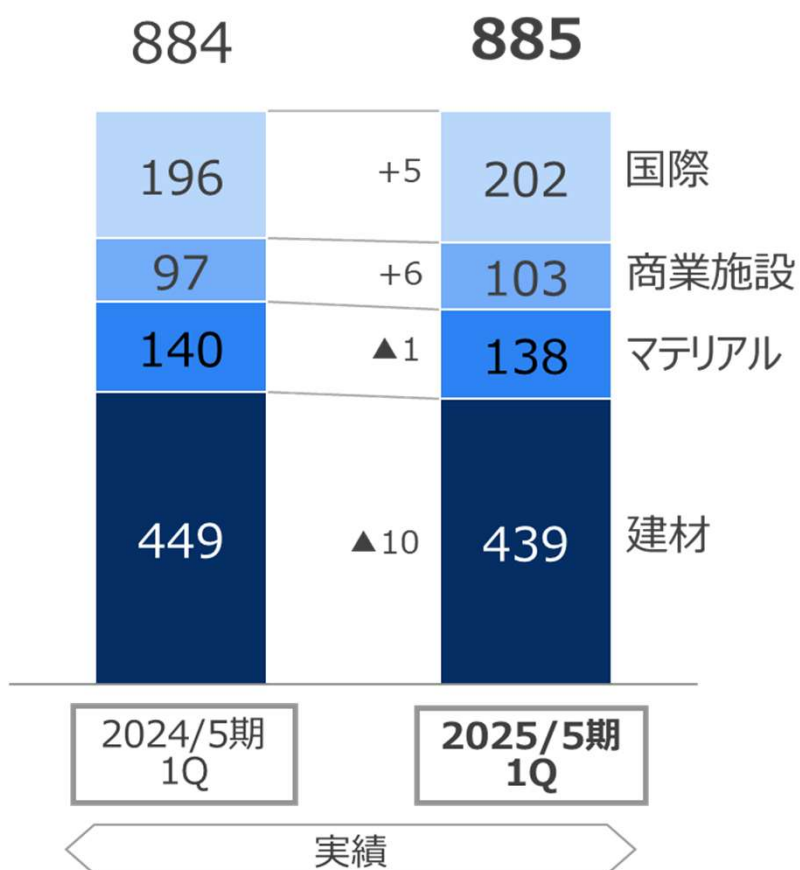
売上高

885 億円

前年同期比

+ 0 億円

(+ 0.1%)



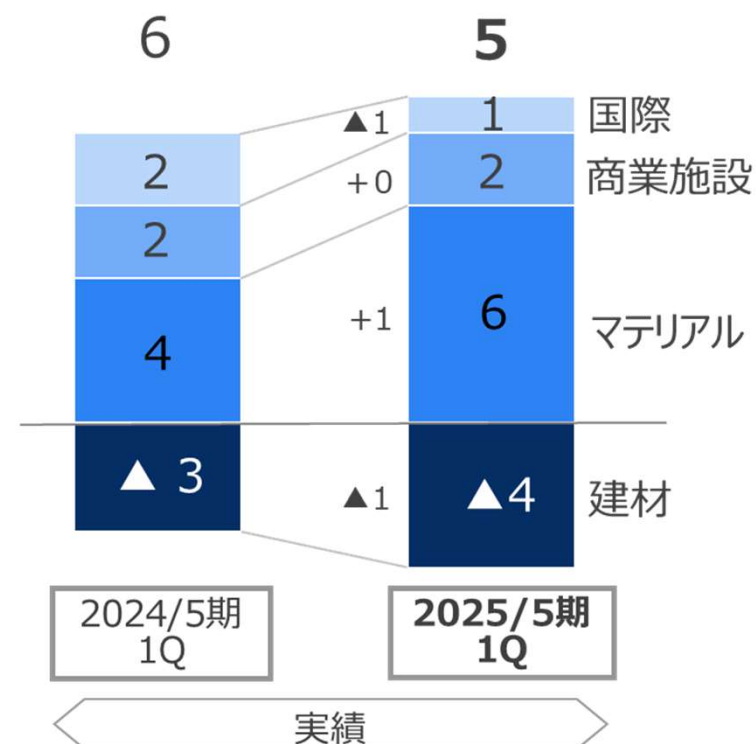
営業利益

5 億円

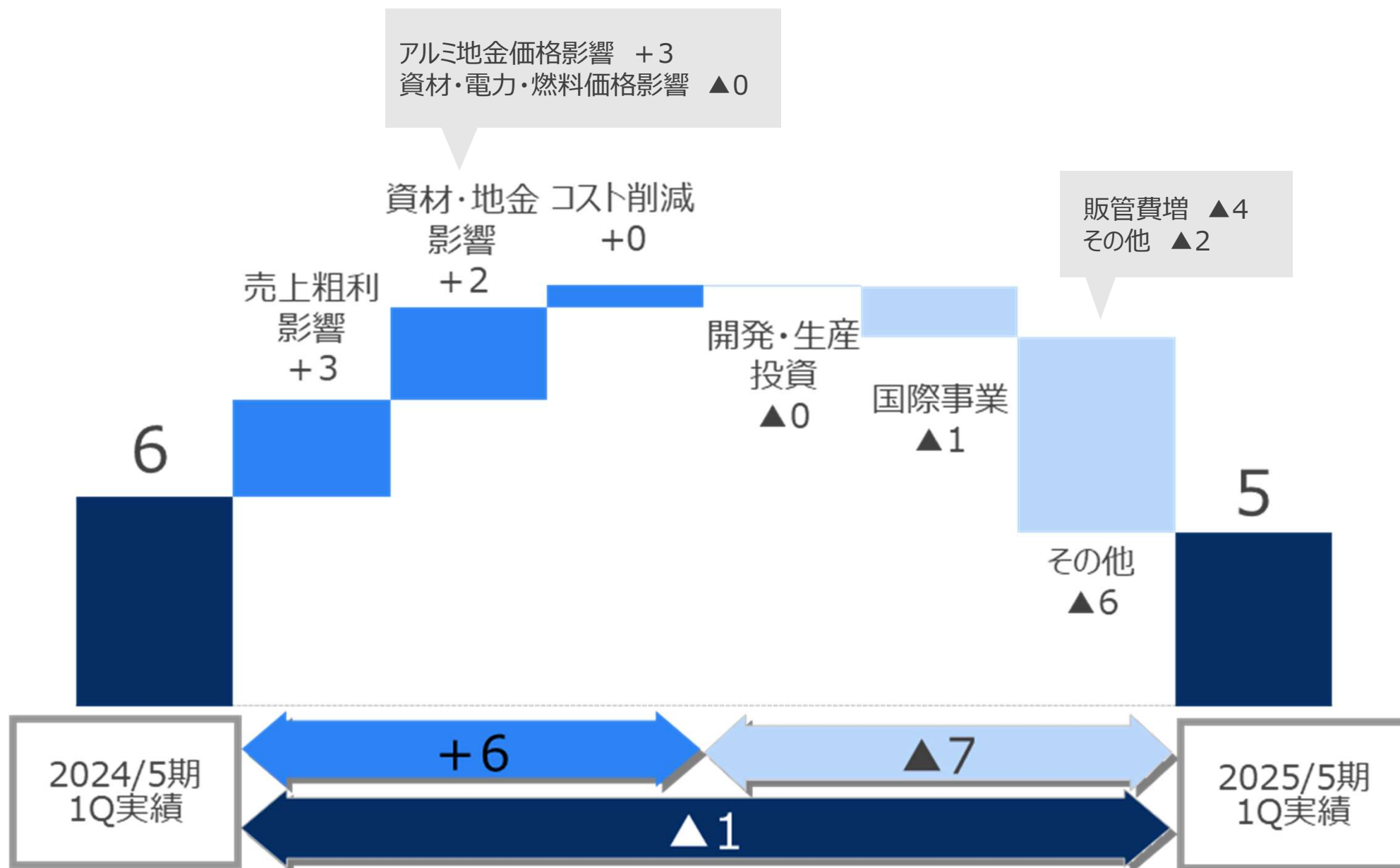
前年同期比

▲ 1 億円

(▲ 16.9%)



※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約
※金額は億円未満切り捨て表示

2025年5月期 第1四半期（2024年6月～8月）商品リリース一覧

2024年6月

建材事業

カーポート「FⅡ」両側支持タイプ 発売



カーポート「FⅡ」両側支持タイプ

建材事業

カーポート型太陽光パネル架台「エネジアース」リファイン

建材事業

「X.style（クロススタイル）」シリーズに門袖 追加



「X.style」シリーズ 門袖

2024年8月

商業施設事業

新型調剤什器「MEDシリーズ」 発売



業界初

抗ウイルス引手を標準設定

SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工
無垢系・鍍金
引手
JP0612884X0003NSIAA
ISO 22196
抗菌加工
無垢系・鍍金
引手
JP0122884X0001H●ニュースリリース（建材事業／三協アルミ社）⇒ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2024news/news2024.html>●ニュースリリース（商業施設事業／タテヤマアドバンス社）⇒ <https://advance.st-grp.co.jp/news/>

	対象期間	2022年	2023年	2024年
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数	4月-6月	21.8万戸 (1.3%減)	20.8万戸 (4.7%減)	20.9万戸 (0.5%増)
新設住宅着工戸数[持家]	4月-6月	6.6万戸 (8.9%減)	5.8万戸 (11.8%減)	5.4万戸 (6.0%減)
新設住宅着工戸数[貸家]	4月-6月	8.6万戸 (2.5%増)	8.7万戸 (2.0%増)	9.0万戸 (2.9%増)
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積	4月-6月	19.3百万㎡ (6.3%増)	16.7百万㎡ (13.5%減)	16.2百万㎡ (3.2%減)
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く]	6月-8月	7.7万 t (6.1%減)	8.8万 t (14.6%増)	8.8万 t (0.6%減)
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗]	4月-6月	1,612棟 (13.8%増)	1,408棟 (12.7%減)	1,382棟 (1.8%減)
【国際事業指標】 ドイツ自動車生産台数	4月-6月	85.1万台 (6.7%増)	107.8万台 (26.7%増)	105.2万台 (2.4%減)
タイ自動車生産台数	4月-6月	39.0万台 (3.0%増)	41.4万台 (6.1%増)	34.7万台 (16.1%減)
【アルミ地金価格平均値】 [日本経済新聞より]	6月-8月	410.2円/kg	379.3円/kg	451.7円/kg

日本アルミニウム協会公表値の集計区分に変更あり。前年と同条件では前年同期比で約2.8%増と推定。

() は前年同期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減		'24/5期	'25/5期	増減	
1Q	449	439	▲10	▲2.3%				
2Q								
3Q								
4Q								
'25/5期 通期計画						1,870		

- 「住宅省エネ2024キャンペーン」によるリフォーム需要の獲得
- 新設住宅着工戸数の一戸建てが減少

セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減		'24/5期	'25/5期	増減	
1Q	▲3	▲4	▲1	-				
2Q								
3Q								
4Q								
'25/5期 通期計画						13		

- 価格改定の効果
- 販売量の減少など

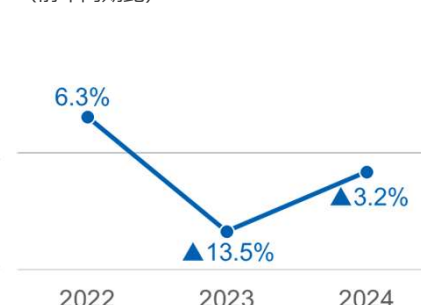
事業環境

新設住宅着工戸数
(前年同期比)



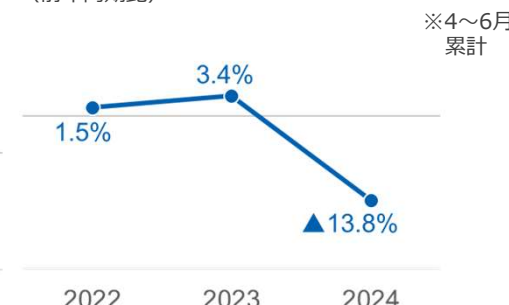
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

非木造建築物着工床面積
(前年同期比)



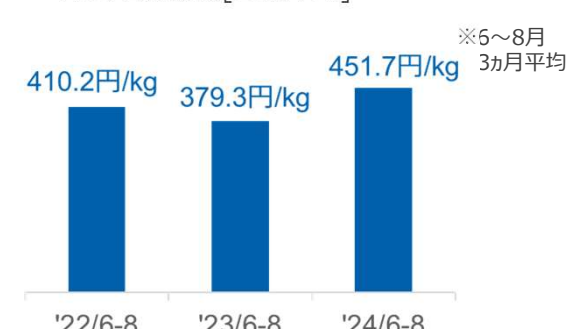
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

ビル用アルミサッシ販売重量
(前年同期比)



出典：経済産業省 生産動態統計

アルミ地金価格[日経平均]



出典：日本経済新聞

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減		'24/5期	'25/5期	増減	
1Q	140	138	▲1	▲0.9%				
2Q								
3Q								
4Q								
'25/5期 通期計画						580		

- 一般機械分野の需要回復
- 輸送分野の減少

セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減		'24/5期	'25/5期	増減	
1Q	4	6	+1	+31.2%				
2Q								
3Q								
4Q								
'25/5期 通期計画						18		

- 販売構成の変化など

事業環境

国内アルミ型材押出重量（前年同期比）

<一般機械>



<自動車>



出典：日本アルミニウム協会統計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減		'24/5期	'25/5期	増減	
1Q	97	103	+6	+6.2%				
2Q								
3Q								
4Q								
'25/5期 通期計画						415		

- 多様化する消費者ニーズに対応すべく積極的に投資を行っている小売業態の新規出店や店舗の改装需要を取り込んだこと

セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減		'24/5期	'25/5期	増減	
1Q	2	2	+0	+14.8%				
2Q								
3Q								
4Q								
'25/5期 通期計画						12		

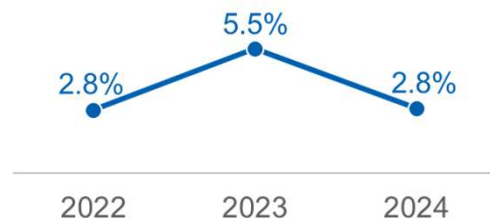
事業環境

建築着工棟数[店舗] (前年同期比)



出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

小売業販売額 (前年同期比)



出典：経済産業省 商業動態統計調査

※4～6月累計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績			実績累計		
	'24/5期	'25/5期	増減	'24/5期	'25/5期	増減
1Q	196	202	+5			+3.0%
2Q						
3Q						
4Q						
'25/5期 通期計画				730		

- ・ 欧州子会社におけるEV分野の需要鈍化や卸売向けの販売量増加
- ・ タイ子会社における輸出、電子機器分野の伸長
- ・ 為替影響による増収効果

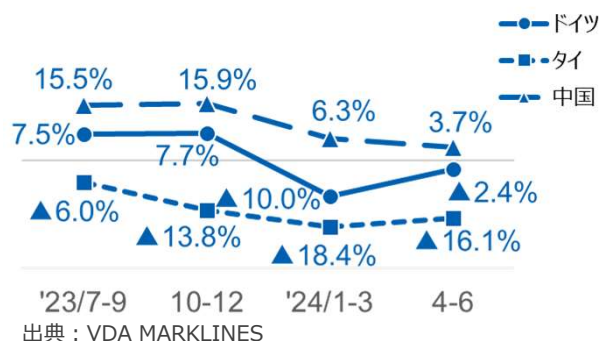
セグメント利益

	3ヵ月実績			実績累計		
	'24/5期	'25/5期	増減	'24/5期	'25/5期	増減
1Q	2	1	▲1			▲56.7%
2Q						
3Q						
4Q						
'25/5期 通期計画				▲3		

- ・ アルミ地金価格の上昇
- ・ タイ子会社での売上高の増加
- ・ 欧州子会社での販売構成の変化など

事業環境

自動車生産台数（前年同期比）



ドイツEV自動車販売台数シェア



GDP（国内総生産）（前年同期比）



計画前提・実績

		期中 平均値	2024/5期 1Q実績	2025/5期 前提 (通期)	2025/5期 1Q実績
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		6～8月	379.3円/kg	435.0円/kg	451.7円/kg
為替	ドル	4～6月	137.5円	150.0円	155.9円
	ユーロ	4～6月	149.6円	160.0円	167.8円
	バーツ	4～6月	4.0円	4.0円	4.3円
	元	4～6月	19.6円	21.0円	21.5円

サステナビリティビジョン2050

Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

カーボンニュートラルへの挑戦

事業活動に伴う温室効果ガス排出削減と、環境技術で創出する商品・サービスによる温室効果ガス排出削減貢献とのバランスにより、カーボンニュートラルを目指します。

資源の循環

循環型社会の実現に向けて、主要原材料の循環使用の促進と、廃棄物の再資源化を推進します。

人財を未来へつなぐ

多様性や人権を尊重し人材育成を推進することで活力ある企業風土を創出し、豊かな暮らしを実現する原動力となる「人財」を未来につないでいきます。

2030年度目標

温室効果ガス排出量

Scope1+2 **50%減** (2017年度比)

Scope3 **25%減** (2022年度比)

対象：三協立山グループ

建材向け
アルミリサイクル率 **80%**

課題の対応により100%を目指す

女性管理職比率

10%

Scope1：自社での燃料の使用に伴う直接排出
Scope2：自社が購入した熱・電力の使用に伴う間接排出
Scope3：自社の事業活動の上流及び下流のプロセスでの排出

*1：個別製品ごとの指標を表すものではありません
*2：対象とする拠点は、国内製造拠点
*3：社内の製造工程で生じた端材を含みます

■ 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、国内外の経済環境、為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。